

- 1 ②△×△□： 3 人の「セカノ。
- 2 ・位置関係： ・七瀬あき=正面 **50cm**
- 3 ・凜崎かおる=右 **50cm**
- 4 ・唯野めぐみ=左 **50cm**
- 5
- 6 □病室にかけてくる音(七瀬)
- 7 Nanase 「.....」
- 8 ねえあんた、記憶無くしたってほんとな」
- 9
- 10
- 11 Rinzaki 「先輩、大丈夫なんですか...」
- 12 むしろのりいがかったら、わたし...」
- 13
- 14
- 15 Tadano 「ふふふ...記憶無くしたって、私との関係も、忘れちゃったんだよね...うう」
- 16
- 17
- 18 Nanase 「わよひと待つて、何の女2人組。」
- 19 ねえあんたたち、何のいじめかの関係。」
- 20
- 21
- 22 Rinzaki 「すみません、あなたこそ誰ですか？先輩との関係を知りたいんですが」
- 23
- 24
- 25 Nanase 「それはいつのセリフなんだけど。あんた何の何なのよ？」

- 1 Tadano 「ふふふ…怖こよね…喧嘩はやめにトモー...」
- 2
- 3
- 4 Nanase 「こや、あんたも誰なのよ」
- 5
- 6
- 7 Tadano 「あの、唯野めぐみって言います。」
- 8 「えいひや...全員同じ制服みたいですね...」
- 9
- 10
- 11 Nanase 「ふん~、せっこうだよ。」
- 12 「あんた、裏切ったわね。」
- 13 初恋の相手とが「恋つともながら、
- 14 「こんな雌犬じみの一緒にイチャついてたと聞いて...」
- 15 「んぐううう...。(殺意)」
- 16
- 17
- 18 Rinzaki 「ふふ、3年の先輩でしょつか。」
- 19 やたらの鼻息が荒くて、落ち着きのない方ですね。
- 20 まあ、他の女に取られても仕方がないといふか...くすくす」
- 21
- 22 Nanase 「ああ? あんた名前は?」
- 23
- 24
- 25 Rinzaki 「凜崎かおぬです。ヒルヒル、先に名乗るのがマナーなんぢやないですか? はあ、礼儀のなつてない方ですね。」
- 26 そんな性格だから、先輩も愛想を尽かしたんだしちゃうね」
- 27
- 28

- | | | |
|----|---------|--|
| 1 | Nanase | 「あたしは七瀬あや。まあよんこく」 |
| 2 | | 名前覚えたから。唯野やくに凛崎やんね。 |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | Tadano | 「その…私が2年で、凛崎さんが1年みたいです。えと…学生証を見た感じ、七瀬先輩が3年、なんですよね」 |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | Nanase | 「ええ、んでりこちが2年なのは言わんでも分かる」 |
| 11 | | まさか浮気するとは…。 |
| 12 | | 「うぶんうつ誠実気取りのむけいつスケベがあつて…」 |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | Tadano | 「うう…私も、他の方に奪われてたかもうないですよ…。めしやうだいしたひ、誰が本命で…ふふふよ、誰が本当の彼女なの…」 |
| 16 | | |
| 17 | | |
| 18 | | |
| 19 | Rinzaki | 「ふふ、先輩は私のものですよ。彼女振りますけど、実はセフレとかじやないんですか？」 |
| 20 | | くすくす、都合の良い体だけの関係、 |
| 21 | | 七瀬先輩にはもう少し良い気もしますけど」 |
| 22 | | |
| 23 | | |
| 24 | | |
| 25 | Nanase | 「あんた、ヤハキカラの喧嘩売ってんの？」 |
| 26 | | …いいわ、これからあたしが本物の彼女だって証明してあげるから |
| 27 | | |

1 Rinzaki

「ふふ、二セカノは2人いて、ホンカノは1人だけ。
誰がハツタリなのか、丑黒つけのも良いかもですね」

2

3

4

5 Tadano

「べへ…暴力はダメですよね…」

6

7

8 Nanase

「はあ、あんたナイーブすせつへーか。
女子高生にもなつて喧嘩なんかするわけないでしょ。

10 「これは勝負よ。ソレにホンカノを見つけさせる勝負」

11

12

13 Tadano

「べへ…どうしようもへて勝負するんだすか…」

14

15

16 Rinzaki

「ふふ、単純ですよ。

17 過去の写真を見てしまひたり、

18 記憶のトリガーになるような場所に行つたり…

19 「おまんこおひせいの感触を確かめたり、ですもな。くわくわ」

20

21

22 Nanase 「は、あんた最後なんじ間へた」

23

24

25 Rinzaki

「ふふ、おまんこ、しゃぶ。」

26 セシタスを通じて黙こ王わやるのが一番だつて黙こがう」

27

1 Tadano

2

3

4 Rinzaki

5

6

7

「ふふふ..なんでもんだいりス...」

「ふふ、彼氏くんはユースケぐで、性欲の化身なんだよから。」

ヤシクスを通しヽ瞬ヽ丑れやるのが手ヽ取ヽ耳ヽお聴ヽサルヽトヽ」

8 Nanase

「ふふふ...確かに一理あるわね。

まあこゝね、その勝負、乗つてあげる」

9

10

11

12 Tadano

「ふふふ...怖いけど...ドカ、

記憶が治るかもしないんだつたら...協力します！」

13

14

15

16 Rinzaki

「ふふ、ちなみに、七瀬ちゃんはこいつしたんですか？

17

彼氏くんの初めてのヤシクス。」

18

19

20 Nanase

「はい、あんた何恤ひて...」

21

22

23 Rinzaki

「ね、わなねわなーん、

付も合ひつかひぬくおぐのこでおまんこに挿れましたかヽトヽルドヤム。

感の鈍そうなあなたでも、それくらい分かりますよね」

24

25

26

27

1 Tadano

「ふふふ…その言い方、生々しいよお…。

2 えへへ…でも私の♥エッチな」とはあ…大好きですう…♡」

3

4

5 Nanase

「ふふ、分かったわ(キレ気味)。

6 あんたたちがセックス狂いの淫乱女つていうのがね。

7 なんいろいろの「うー、おま…ん」で分からせるしかないわね」

8

9 Rinzaki

「ふふ、これから毎週日につきを決めて、先輩に会いに行きましょっ。

10 そして、誰がホンカノなのか、思い出してやるいよしようか」

11